

## スリナム月間情勢報告（2023年11月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

### 1 概況

- 中国国営鉱山会社紫金鉱業の子会社 Rosebel Gold Mines が所有するブロコポンド地方の金鉱区でトンネル崩壊の事故が発生し、金鉱山労働者14名が死亡。
- ペトロナス社（マレーシア）は、スリナム沖合ブロック52鉱区の Roystonea-1 で新たな油層を発見したと発表。
- 2019年に世銀と3,000万米ドルの融資契約に署名したサラマッカ運河修復プロジェクトは、インフラ企業 Bouw & Infra Suriname 社及び Infra International 社と契約を締結したことで正式に開始する旨公共事業省が発表。
- エドマンズ米州開発銀行（IDB）カリブ地域事務所総責任者はラゴバーシング財務・計画相を訪問し、今後の協力について協議を実施。財政政策、教育、インフラ、農業、公衆衛生、環境、及び文化の分野に重点を置くことで合意し、今後5年間で、右分野に対し約3.4億米ドルの支援が行われる旨が発表された。
- ラムディン外相は中国との二国間債務再編に関する協議を行うため5～12日で訪中し、王毅外相と会談を実施。

### 2 内政

- （20日、21日報道）中国国営鉱山会社紫金鉱業の子会社 Rosebel Gold Mines が所有するブロコポンド地方の金鉱区でトンネル崩壊の事故が発生し、金鉱山労働者14名が死亡。フランスからも救助隊が派遣された。

### 3 経済

- （1日報道）ペトロナス社（マレーシア）は、スリナム沖合ブロック52鉱区の Roystonea-1 で新たな油層を発見したと発表。
- （16日、21日報道）15日、スリナムは欧州連合（EU）及びアフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構（OACPS）の加盟国間の新協定であるサモア協定に調印。同協定は、2020年に失効したコトヌー協定の後継となるものであり、締約国間の政治的・財政的パートナーシップの強化、及び援助国と被援助国の関係からの脱却と、それに伴う締約国間の対等なパートナーシップへの移行を目的とする。
- （17日報道）サウジアラビアにて開催されたサウジアラビア・カリコム首脳

会合の傍ら、ラムディン外相はサウジアラビア開発基金との関係深化を目的にスルタン・アル＝マルシャド同基金最高経営責任者（CEO）と会談し、今後の協力分野に関して協議。同外相は近日中に同CEOをスリナムに正式に招待し、今後の協力に関して更に協議予定である旨発表。

●（17日報道）2019年に世銀と3,000万米ドルの融資契約に署名したサラマッカ運河修復プロジェクトは、インフラ企業Bouw & Infra Suriname社及びInfra International社と契約を締結したことで正式に開始する旨公共事業省が発表。

●（19日報道）エドマンズ米州開発銀行（IDB）カリブ地域事務所総責任者はラゴバーシング財務・計画相を訪問し、今後の協力について協議を実施。財政政策、教育、インフラ、農業、公衆衛生、環境、及び文化の分野に重点を置くことで合意し、今後5年間で、右分野に対し約3.4億米ドルの支援が行われる旨が発表された。

#### 4 外交

●（8日、21日報道）ラムディン外相は中国との二国間債務再編に関する協議を行うため5～12日で訪中し、王毅外相と会談を実施。更にラムディン外相は同二国間会談において、中国の「一帯一路」構想に対する支持を改めて表明。

●（24日報道）スリナム独立48周年を記念してヘンリー・ハイチ首相が公式訪問し、二国間首脳会談を実施。両首脳は南南協力の枠組み内での二国間協力関係強化、カリブ地域における課題克服のための域内対話継続の重要性、貿易と投資の促進、ハイチの治安情勢の回復に向けた国際社会の協力の重要性等について協議し、会談終了後共同声明を発表。

●（30日報道）スリナムと仏領ギアナは、2024年末までの両軍間の軍事協力継続に関する協定に調印。